



番号	3	対象地名	妙善寺
所在地	富士市原田 1344		
種別	寺社		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙善寺は、本堂の裏（東側）に湧水源が1箇所あり少量ながら湧いている。 ・ まちの駅に認定されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地の周辺は、概ね低層住宅地が広がり、北に滝川山神社、南西にかがみ石公園、南東に竹採公園がある。また近隣に、北東に静岡県立吉原工業高校、南東に吉原第三中学校がある。 ・ 妙善寺の南の住宅地は水路が巡り、水の勢いの流れる音が聞こえる。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1250年頃から観音堂があり、安置されている十一面千手観音坐像（市指定文化財）は、「滝川のお観音さん」と呼ばれ親しまれてきた。 ・ 古くから湧水と関わりが深い地域であり、昔から人の集まる要所であった。豊富な湧水量のため、昔は水車小屋が何棟もあり、水車の粉引きをしに多くの人が集まった。 ・ 大正から昭和37年まで、本堂の裏で農耕馬による草競馬が行われており、現在も敷地の周りに走行路の跡がみられる。 ・ 臨済宗中興の祖といわれる白隠^{はくいん}禪師^{ぜんじ}は、妙善寺の和尚と親交があり、妙善寺に滞在したことがあった。殊に妙善寺の風呂がお気に入りです。わざわざ他の宿所から入浴のために通われたともいわれている。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【逸話】</p> <p>【祭り・イベント】</p> <p>戦乱のさなか、関東公方の足利持氏と戦った小栗判官^{おぐりはんがん}満重は、戦に利あらず居城の常陸国小栗場をすてて、兄のいる三河国へ向けて逃亡の旅を続けていた。その途中、相模国で満重の殺害を計画して、一行に毒酒をすすめた。それに気づいた大膳の養女照手姫^{てりてひめ}がひそかに満重にこれを告げた。彼は急いで馬（鬼鹿毛）に飛び乗って西をさして走り、この地の原田の妙善寺に至ったところで落馬、命も危なかったところを大空禪師に救われたという。大空禪師は彼を紀州の温泉に湯治に送り出した。しかし、そのような事情も知らない鬼鹿毛は主人の後を慕って探し回ったあげく、お堂を三回巡った後、三度悲しげないなきを残し息絶えた。これを哀れんだ大空禪師は、鬼鹿毛を観音堂下に手厚く葬り、供養したといわれる。</p> <p>■祭り・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妙善寺：ご開帳（旧暦1月17日、旧暦7月9日） ・ お観音さんのお祭り：ご開帳にあわせ、かつての草競馬でにぎわった祭りをしのんで、 		

番号	4	対象地名	かがみ石公園
所在地	富士市原田		
種別	公園		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質	水温 13.3℃ 電気伝導度 9.40mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園一帯は湧水が豊富で、園内には大小3つの池があり、数か所の湧出口からは1日7千トンの湧出量がある。公園入口の道路脇の水場には水神が祀られ、湧水量が豊富で、簡易水道の水源としても利用されていた。 公園の湧水源は、六田川^{むったがわ}の起点になっており、園内の池の中に碑がある。 園内の池には、照手姫伝説の「かがみ石」があり、実際に姿を映し見ることができる。 公園内には多様な植物が生息し、植物観察に最適な公園として富士自然観察の会で活用されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園周辺は、概ね低層住宅地が広がっていると同時に、北東に妙善寺、南東に滝川神社、南西に湧き水で知られる滝不動や永明寺などの寺社も見られる。また、東に吉原第三中学校がある。 公園の南にまちの駅「コーヒーハウスロッキー」があり、住民や来訪者に利用されている。 		
歴史	<p>【野村一郎】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代末期に水不足に悩んでいた西比奈村の名主・野村一郎は、飲料水を導水するために、鏡石から六田川を開削した。分水は、西比奈村から原田村へ水年貢として米九俵を納めるという条件で成立した。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【逸話】</p> <p>【水辺の動植物】</p> <p>小栗判官を助けた大膳の養女照手姫は、小栗判官を逃がしたことで大膳の所に居られなくなり、判官のあとを追って妙善寺にたどり着いた。ここで生活しながら湧水の中にある平たい石に映る姿をながめ身をととのえ、小栗判官との再会を待ったと言われる「かがみ石」がある。</p> <p>■水辺の動植物</p> <ul style="list-style-type: none"> 梅花藻 ホタル 		



かがみ石公園（湧水源）




照手姫伝説のかがみ石



湧水池と自然観察する子供たち



公園入口の水場と水神

番号	5	対象地名	滝不動（いぼとり不動）
所在地	富士市原田 1352		
種別	寺社		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質	水温 13.2℃ 電気伝導度 9.30mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 滝不動は、「いぼとり不動」「イボガミサン」として知られる不動明王が安置されており、滝不動の社殿裏の崖から湧水が滝のように流れ出し、竹樋を伝って、不動明王像に注がれている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園周辺は、概ね低層住宅地が広がっていると同時に、東に妙善寺や滝川神社、西に永明寺などの寺社も見られる。また、近隣には、東に吉原第三中学校、南西に原田小学校がある。 周辺は湧水地が多く、永明寺やかがみ石公園、鎧ヶ渕親水公園では豊富な湧水が見られる。また、永明寺東側の道路には、滝不動から流れる水路があり、水場も残されている。 滝不動の南東にまちの駅「コーヒーハウスロッキー」があり、住民や来訪者に利用されている。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 永明寺の鎮守堂として建てられた。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【いぼとり不動】</p> <p>昔、イボが身体に沢山出来ている娘がいた。娘は何とかしてイボを取りたいと永明寺の和尚に相談したところ『池の中の不動様をお願いしてみなさい』と言われ、三七、21日の願を掛け、毎日不動さんにお参りをした。満願の21日目の朝、娘の夢枕に不動さんが立ち「池の水を掛けなさい」と言われ、さっそく不動さんの所に行き自分の身体に水をかけた。すると不思議なことにたちまちイボが取れ、たいそうきれいな娘となった。それから村人はこの霊験あらたかな不動さんを「いぼとり不動尊」と名付けて、広く信仰するようになった。</p> <p>■水辺の動植物</p> <ul style="list-style-type: none"> カワニナ 		



滝不動（湧水源）



滝不動西側道路からみた池の様子



境内の石垣から湧水が染み出す様子



永明寺東の水路


番号	6	対象地名	(仮称) 滝不動近くの水汲み場
所在地	富士市原田		
種別	道路		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本対象地は、滝不動の北側、永明寺東側道路の脇にある。 ・かつて滝川水道組合の水源であったが、現在は利用されていない。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地に隣接して永明寺と滝不動があり、西に鎧ヶ淵親水公園、東にかがみ石公園があり、いずれも豊富な湧水がみられる。 		



水道管 (湧水源)



湧水地点

番号	7	対象地名	永明寺 <small>ようめいじ</small>
所在地	富士市原田 1167		
種別	寺社		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質	水温 12.6℃ 電気伝導度 9.40mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 永明寺は、豊富な湧水に恵まれた「水の寺」で知られている。 永明寺の本堂裏には東海地方屈指の名園と言われる「富士乱水の庭」がある。高低差のある裏山の地形と湧水を用いた池泉回遊式<small>ちせんかいゆうしき</small>の庭園で、ツツジやサツキを大胆に植栽し立体感ある美しい庭園となっている。 南側の山門には湧水を活用した噴水石が置かれている。 庭園北の裏山では、石像七福神めぐりを楽しむことができる。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 永明寺周辺は湧水地が集積しており、西に滝川、鑑ヶ渕親水公園、北東に滝不動とかがみ石公園があり、豊富な湧水が見られる。 滝川沿いに製紙工場が立地しているが、その他は概ね低層住宅地が広がっている。また、東に吉原第三中学校、南西に原田小学校がある。 永明寺南側の駐車場は、東側に枝垂桜の並木があり、南側からは、富士山を背景にお堂の屋根ラインが富士山の稜線に平行する特徴的な景観を見ることができる。 南東にまちの駅「コーヒーハウスロッキー」があり、住民や来訪者に利用されている。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 永明寺は、天平勝宝8年(756)行基上人が開創した。永正2年(1504)今川氏の重臣・斎藤加賀守が高台下の水辺に移して七堂伽藍<small>しちどうがらん</small>を建立した。 当山の五世水庵盛順<small>ごせいすいあんせいじゆん</small>(1583没)は、豊富な湧水を活用しようと水車を設置し、周辺地域の人々にも水車の活用を勧めるなど、永明寺は昔から水と深くかかわってきた。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【逸話】</p> <p>【水辺の動植物】</p> <p>【死骸が消える永明寺の山門】</p> <p>永明寺の正門は、薬医門といわれる立派な門です。むかし、お葬式の行列が正面から入って、この正門を潜ろうとすると急に悪寒が軽くなりました。かついでいた人々が、悪寒を下してふたをあけてびっくり。どこへいったのか死骸が見えません。死骸が無ければ葬式はできないと、人々が家まで引き返そうとして、門前の道まで来ると、また悪寒が重くなったのです。開けてみると死骸が元にもどっています。和尚さんも不思議なこともあるものだと思います、お経を読みながら門を入りました。今度は死骸は消えませんでした。こんなことがその後、幾度も続きましたが、どういう訳なのかさっぱり和尚さんにもわかりませんでした。それから後、お葬式の行列は正門を通らなくなりました。</p>		

■水辺の動植物

- ・わさび田
- ・ヤマメ、ニジマス、コイ
- ・ゲンジボタル



永明寺（湧水源）




山門の噴水石（登竜漠）



庭園（富士乱水の庭）



七福神巡りの散策路

番号	8	対象地名	鎧ヶ淵親水公園
所在地	富士市原田 1165-3		
種別	公園		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質	水温 13.3℃ 電気伝導度 9.30mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎧ヶ淵親水公園は、滝川に接している公園で、上段・中段・滝川と立体的に水路が流れている。公園東の入口付近に湧水源があり、園内には湧水池が設けられている。 ・ 散策路では、滝川の清らかな水の流れや、工場から出る滝のような水の様子など、多様な水景観を楽しむことができる。 ・ 親水護岸は、生き物の観察場、子どもたちの水遊び場として利用されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の東側は永明寺の境内に接し、北側は永明寺の墓地が広がっている。また、西側は第三保育園、南側は五條製紙工場が隣接している。 ・ 第三保育園の西側には、湧水を活用した原田湧水池公園があり、鎧ヶ淵親水公園は原田湧水池公園へのアプローチとしても利用されている。また、第三保育園そばの斉藤橋からは、滝川の水景と五條製紙のレトロな建物を見ることが出来る。 ・ 南西に原田小学校や原田まちづくりセンターなどの公共施設が集積している。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元々の「鎧ヶ淵」はこの公園よりも上流にあった。 ・ かつてわさび田が造られ、昭和 45 年頃まで山葵を求めて静岡市などから魚屋が来ていた。 		
その他 【祭り・イベント】 【逸話】 【水辺の動植物】	<ul style="list-style-type: none"> ■祭り・イベント <ul style="list-style-type: none"> ・ かつては鎧ヶ淵親水公園まつりが行われ、マスのつかみ取りなどで賑わった。 ■逸話 <ul style="list-style-type: none"> 【滝川の鎧ヶ淵の主】 <p>永明寺の小坊主が木によじ登って枝打ちをしていた時に誤って山刀を淵に落としてしまいました。怒った和尚は小坊主に、潜って拾って来るよう言いましたが、鎧ヶ淵はとても深く、氷のように冷たい水が渦を巻いています。その上、このふちには主が住んでいるとも言われているので、小坊主はとても潜る気にはなれません。困っていると、なんと水面に山刀が浮いているではありませんか。小坊主はあわててふちに飛び込みました。ところが、山刀は幻で、ふちの底には立派な御殿があり、奥で美しい女の人が機を織っていました。小坊主が近づくと「おまえは、山刀を拾っていかないとしかられるので返してやるが、私のことはだれにもしゃべるでないぞ。私はこのふちの主だが、お前の山刀で織物がこんなに切れてしまった、今度、落としたら許さないぞ」と言い、山刀を返してくれました。小坊主がお寺に変えると、和尚さんに「三年の間、おまえはどこへ行っていた」としかられました。</p> 		



鎧ヶ淵親水公園（湧水源）




親水池



親水護岸での自然観察の様子



斉藤橋から見えるレトロな建物

番号	9	対象地名	原田湧水池公園
所在地	富士市原田 1147-4		
種別	公園		
湧水分類	滝川湧水群		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・原田湧水池公園は湧水源が3箇所ある。(①公園北 ②公園中央 ③公園東)公園の北側の道路沿いに湧水源があり、そこから引いた湧水を活用した公園である。 ・園内には流水によってひき臼を動かせる水車小屋やあずまや等の休憩施設、錦鯉の泳ぐ親水池があるなど、庭園空間として地域住民の憩いの場となっている。また、多様な植物も植えられていることから、自然観察の場としても利用されている。 ・湧水池公園の北西の土地は、五條製紙が所有する水源地である。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺は概ね低層住宅地が広がっており、公園周辺の道路沿いや滝川に湧水源があり、水場が残されている。 ・東の滝川沿いに第三保育園や鑑ヶ淵親水公園、五條製紙工場がある。 ・南に原田小学校や原田まちづくりセンターなどの公共施設がある。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・昔、この周辺には豊富な湧水を利用した搗屋^{つきや}が数軒あり「搗屋町」とも呼ばれていた。 ・豊富な水量から「水は三寸下がれば綺麗になる」と言われていた。 		
その他 【水辺の動植物】	<p>■水辺の動植物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤブラン・ヒメツルソバ・ペラペラヨメナ・ハナヤスリ・マンリョウ・トクサ・セキショウなど。 <p>【水生植物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイカモ（梅花藻） <p>【水生動物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒラタカゲロウ・トビケラ・カワニナ・サワガニなど。 		



① 原田湧水池公園・北 (湧水源)



②原田湧水池公園 (湧水源)



③ 原田湧水池公園・東 (湧水源)




公園東側の入り口



バイカモの開花の様子



水車

番号	10	対象地名	えびどうの池・原田公園
所在地	富士市原田字飯森東 704		
種別	公園		
湧水分類			
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・松原川を境に、北にえびどうの池、南に原田公園がある。 ・えびどうの池は、中島町の水源地だった所で、古富士溶岩の下からの湧水を利用して作られている。「えびどう」の名前の由来は、「下流の川床であるため川えびが多かったこと」、あるいは「湧水口がお堂の形をしていたこと」などがある。 ・原田公園は、富士山への見晴らしがよく、富士山百景ビューポイントに挙げられている。松原川沿いに遊歩道が整備され、水辺の散策路として利用されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・えびどうの池の西側には、雨水貯留池があり、小さな湧水の滝が見られる。 ・原田公園の西側に飯森浅間神社が隣接している。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のえびどうは新しく作ったもので、もともとのえびどうは、すぐ下流の川床だった。 ・原田雨水貯留池は、松原川の水害防止のために作られた雨水貯留池で、元は湿地で、ホタルが多く生息する場所であった。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【河童伝説】</p> <p>昔、えびどうの池の付近は草木が生い茂り、昼でも薄暗い場所であったため子どもだけで遊ぶのは危ないといわれていた。えびどうの池には河童が潜んでいて、遊び相手を増やすため、子どもを水に沈めて河童の仲間にしてしまうという言い伝えがある。</p> <p>■祭り・イベント</p> <p>【水辺の動植物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えびどうの池はホタルが飛ぶことがあり、4年ほど前まで『ほたるの夕べコンサート』が開催されていた。 <p>■水辺の動植物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタル（えびどうの池） 		



えびどうの池（湧水源）




富士山の眺望（原田公園）



松原川沿いの遊歩道（原田公園）



噴水池（原田公園）

番号	11	対象地名	御殿・吹上水源池 <small>ごてん ふきあげすいげん ち</small>
所在地	富士市原田		
種別	宅地・道路		
湧水分類	中島水神堂		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿・吹上水源池は、原田公園の西に位置し、中島水神堂より送られてきた水を溜めて池とし、かつてはこの辺り一帯の水源とされていた。現在は、使われていないが、一部雑用水として使用している人もいる。 ・豊富な水が流れる様子を見ることができ、池のなかには、鯉が泳いでいる。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地は、宅地や茶畑、畑に隣接し、高台にあるため、平野部の眺望がよい。 ・東側に飯森浅間神社と原田公園がある。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて、中島水神堂付近から豊富に水が湧き出し、分水されて一方は中島の灌漑用水、一方は今泉の飲用水となった。(原田村沿革誌) 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■水辺の動植物 <ul style="list-style-type: none"> ・コイ ■逸話（飯森浅間神社） <ul style="list-style-type: none"> ・かぐや姫の世話をした下婢<small>かひ</small>が祀られていると伝えられている。昔は「飯守明神」と呼ばれており、これは源氏軍が合戦のための食糧をここに置いて、それを兵が守っていたからだと言われている。 		



御殿・吹上水源池（湧水源）




鯉が泳ぐ水場



南側道路から水源地方向を眺める



東側にある飯森浅間神社

番号	12	対象地名	宇東川公園
所在地	富士市宇東川東町9-15		
種別	公園		
湧水分類	宇東川湧水群（滝川分水）		
水質	水温 14.0℃ 電気伝導度 12.60mS/m (富士常葉大学水文環境室調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・宇東川公園の敷地の外周には、豊富な水が流れている。(滝川からの分水) ・宇東川公園は、かつての小沢屋敷跡地であり、石垣の水路や石橋など風情が感じられる。また、園内には、大きなヤマモモの木や石造りの蔵が残り歴史を感じさせる。 ・水路は、(仮称)水辺の小径に続いている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の北側には地区の公会堂が隣接している。 ・周辺は低層住宅地が広がっている。 ・近隣には、北に原田公園、南に岳南原田駅があり、西の呼子坂は石垣の塀など歴史と風情が感じられる住宅地景観が残されている。また、旧根方街道には、古郡酒店などの昔ながらの古い木造建築や、がんもどきで有名な『金沢とうふ店』がある 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・小沢屋敷があった。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【呼子坂】</p> <p>呼子坂は、清岩寺門前にある急勾配の坂であり、源氏軍が高地に陣を敷き、この坂の上から呼子の笛を吹いて兵を集めたと言われている。</p> <p>【ネギをつくらない宇東川】</p> <p>昔、宇東川地区の氏神様が、白い馬に乗って社殿へ帰ろうとしたとき、馬が何に驚いたのか急に暴れ出しました。氏神様は不意をつかれたため、握っていた手綱を放し、馬から放り出されてしまいました。氏神様が落ちたところはネギ畑で、ネギの汁が目に入り、目が見えなくなりました。そんなことがあってから、宇東川地区の人たちは氏神様に申しわけがないとネギをつくらなくなりました。あるとき、強情な男が「そんなはずはない。おれはそんなことは信じない」と言って、自分の畑にネギを作りました。しばらくすると、その男の家族が次々に病気になったり、心配事が続いたりするようになりました。さすがの男も「これはネギをつくったことで、氏神様が怒ったからかもしれない」と思い、畑のネギを全部抜き取ってしまいました。すると、男の家に不幸なことは起こらなくなり、家族の病気も治りました。</p>		



公園東 (湧水源)



公園入り口正面



公園東側の水路




公園入り口の石橋



公園内にあるヤマモモの木



公園内にある石垣の蔵

番号	13	対象地名	(仮称) 水辺の小径
所在地	富士市宇東川東町 8-13		
種別	畑		
湧水分類	宇東川湧水群 (滝川分水)		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本対象地は、宇東川公園の南西にある空き地であり、敷地の南側に湧水が水路となって流れている。 ・宇東川公園の水路から続いており、水路には草が茂り自然が残されている。 ・周辺住民が「せせらぎプロムナード」と名付けている。 ・周辺住民により、水路の名称や童謡の歌詞などを書いた木柱、フットライトが設置されている。 ・対象地からは、富士山を眺めることができる。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺は、概ね低層住宅地であるが、店舗や事業所が介在し、対象地の南側には、葬儀場の駐車場が広がっている。 ・近隣には、北に原田公園、南東に岳南原田駅があり、西の呼子坂は石垣の塀など歴史と風情が感じられる住宅地景観が残されている。また、旧根方街道には、古郡酒店などの昔ながらの古い木造建築や、がんもどきで有名な『金沢とうふ店』がある。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【呼子坂】</p> <p>治承4年(1180)平家打倒のために兵をあげた源頼朝は、房総半島から鎌倉に入った、これを聞いた平家は、平維盛<small>たいらのこれもり</small>を対象にして5~7万の兵を富士川西岸まで進めてきた。一方の頼朝は、関東の武将に命じて富士川東岸へ派兵させ、その先鋒は砂山から原田・今泉にかけて大きく布陣した。合戦を前にして頼朝軍は、この辺りで呼子を吹いて兵を集結したと言われている。</p> <p>■水辺の動植物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダカ 		



童謡の歌詞が書かれた木の棒



透き通った湧水の流れ



空き地と湧水の流れ（右側）



空き地沿いの道